

# 宮崎の海の事件事故統計

宮崎海上保安部管内（日向海上保安署を含む）  
平成22年から過去5年間

## 船舶海難（海難種別）

平成22年の船舶海難は27隻で、前年比5隻(15%)減とやや減少傾向となりました。海難種別の内訳では、衝突、推進器障害などが減った反面、乗揚げが増加しています。

一方、これらの海難に伴う死亡者が5人発生しており、過去5年間で最多となっています。これは、5月23日細島港での貨物船乗揚げ海難で一度に乗組員4人が死亡したことによります。乗組員は乗揚げ後、退船しようとしたボートが高波を受けて転覆又は水没し、全員が溺水したものとみられています。

## 船舶海難（船種別）

船舶海難を船種別にみると、漁船が前年比12隻(67%)減と3分の1に減少した一方、プレジャーボートは前年比6隻(75%)増と大幅に増加しています。依然として船舶海難の80%以上をこれら小型船が占めています。

海難の原因は、見張り不十分や船位不確認などの運航の過誤（人為的ミス）が大半となっています。

## 人身事故

人身事故は42人で、18人が死亡又は行方不明となっています。全体的にここ2年間はやや減少傾向にありますが、3分の1以上を船舶や磯場等からの海中転落が占めており、引き続きライフジャケットの着用率向上を図る必要があります。

